

2011年度奨学候補生現地（ベトナム）選考会 実施報告

日本留学の資金が不足しているベトナム人学生を対象に、2011 年 4 月から日本の日本語学校に留学を希望している人達に対して、ホーチミンで現地選考会（面接）を行い、（株）共立メンテナンス奨学基金奨学金給付候補生として下記の 3 名が選ばれました。応募者数は合計 27 名でした。

2011 年度奨学金給付候補生として採用された皆さんが、留学を希望する日本語学校に入学し、充実した留学生活を送ってくれるよう期待しています。

【日時】 2010 年 10 月 24 日（日）

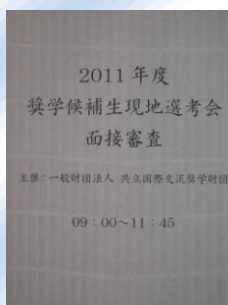
選考会：09:10～11:45

授与式：15:35～16:00

【会場】 選考会：さくら日本語学校

授与式：165NAM KY KHOI NGHIA GUEST HOUSE

■ 選考会（面接）の様子



面接控室



面接の様子



■ 授与式の様子



採用候補生の発表



菊川理事長挨拶



菊川理事長より「奨学候補生採用証」を授与

■ 2011 年度奨学金給付候補生(3 名)

(株) 共立メンテナンス奨学基金奨学生 (月額 60,000 円×12 ヶ月) 3 名

- | | |
|-----------------------------------------------------------------|-------------------------------------|
| ① ^グ NGUYEN THI MINH TOAN ^{エン ティ ミン トアン} | 薬科短期大学初級課程 修了
赤門会日本語学校 進学希望 |
| ② ^グ NGUYEN PHUC MINH TUYEN ^{エン フック ミン トウエン} | 人文社会科学大学 卒業
新宿日本語学校 進学希望 |
| ③ ^{マイ} MAI MAI CUONG ^{マイ ク オン} | BA DINH 高等学校 卒業
静岡日本語教育センター 進学希望 |

(注) 2011 年 4 月迄に、受給条件 (1,2) を満たした時に受給される。



左より MAI MAI CUONG、菊川長徳選考委員長、NGUYEN PHUC MINH TUYEN、NGUYEN THI MINH TOAN

<講評>

選考委員長 菊川長徳

(一般財団法人共立国際交流奨学財団 理事長・国士舘大学 21 世紀アジア学部 教授)



今年、初めて実施した「2011 年度奨学候補生現地選考会」は、ベトナムから夢を持って日本に留学し、日本語能力を高める為に、日本語学校で勉強する生徒に対し、月額¥60,000 で 1 年間学習・生活支援を行う奨学生を現地ベトナムで選考する制度です。第 1 回の選考会にもかかわらず、27 名の候補生に応募頂き、日本への関心の高さを知ることができました。

選考基準は日本語能力試験(N3)の合格者、あるいはそれと同等の日本語能力を持っているという、日本語教育機関の推薦のある生徒を面接し、選考させて頂きました。

各自、日本での学習計画、日本で体験してみたいこと、帰国してベトナムへの貢献と色々な夢を聞き、できれば、全員を支援したいと思いましたが、資金に制限があり、結果、3 名を奨学候補生として選考しました。

採用された 3 名は年間¥720,000 の学費・生活支援は行いますので、しっかり今後の計画を立て、2011 年 4 月の奨学金授与式で再会できることを楽しみにしています。

夢を実現する為に、ベトナムから日本に来て留学生活を送るベトナムの生徒達に、一般財団法人共立国際交流奨学財団は、微力ですが支援し続けたいと思った選考会でした。